

令和元年 6月10日(月)

気仙沼市立津谷中学校 今野

【学校の概要等について】

- ・ 今年（平成31年4月17日）72周年
- ・ 現在の校舎は、平成6年度に建築
- ・ 学区は津谷地区、馬籠地区、小泉地区で、合わせて24行政区でとても広い
- ・ 平成29年4月に小泉中学校と統合(今年度は3年目)

【生徒、教職員の現状について】

1 生徒の学級、家庭状況等

- ・ 普通学級が各学年2学級ずつで6学級、特別支援は知的障害、自閉症・情緒障害各1学級の計8学級
- ・ 全校生徒は、5月1日現在で計154名
- ・ 欠損家庭は24家庭（父子8家庭、母子15家庭、震災孤児1名）
- ・ 準要保護34名（含む震災による12名）で、震災後に職を失った家庭が多い。

2 教職員状況等

- ・ 教職員は18名で、ALT、SC、免外解消非常勤講師（技術）、特別支援教育支援員等を含めると25名（教職員内訳 男性9名、女性9名、平均年齢は42.57歳）
- ・ 登米市からの通勤は1名、石巻市からは1名

【学校経営の概要について】

1 学校教育目標 「自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成」

2 目指す学校像

- (1) 居場所があり、生徒一人一人が向上心をもって生き生きと活動できる学校
- (2) 教師が教育への使命感をもち、地域や保護者から信頼される学校
- (3) 教育環境が整えられ、生徒が安全かつ安心して活動できる学校

3 目指す生徒像

- (1) 自ら課題を見つけ、自ら考えて積極的に学習する生徒
- (2) お互いの違いやよさを認め合い、思いやりをもち、共に高め合える生徒
- (3) 健康と安全に留意し、心身を鍛え、困難を克服していこうとする生徒

4 目指す教師像

- (1) 共感的理解を踏まえ、個に応じた指導を工夫し、生徒の長所を引き出し、伸ばす教師
- (2) 自己の教師力や授業力の向上に努めるとともに、組織の一員として協働する教師

- (3) 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、連携して、生徒のよりよい育ちを支える教師

5 学力向上対策

- (1) 家庭との連携を踏まえた家庭学習習慣を確立させるために「家庭学習のすすめ」を配付するとともに自主学習ノートによる家庭学習の推進を図っている。さらに家庭学習の取りかかりを促すために「帰りの会学習」を行っている。
- (2) 普通学級では、英語、数学をT Tで指導を行っている。
- (3) 業前に全校で朝読書とプリントによる国語・数学・英語の朝自習を実施している。
- (4) 長期休業中に多目的ホールを開放し、自主学習を促している。

6 2019年度の教育実践の重点

(1) 基本方針

「保護者や地域との連携を踏まえ、積極的な生徒指導を基本に据えた教育活動を推進し、生徒の学力や社会性の向上を図る」

(2) 重点

重点1 家庭や地域等と連携した創意ある学校づくりの推進

… コミュニティスクール、情報発信、P T Aとの連携、地域人材の活用

重点2 確かな学力と自立する力の育成

… 授業づくり、5つの提言の実践、家庭学習の定着（自主学習ノート、「家庭学習のすすめ」の活用）、各種検定試験

重点3 豊かな心や健やかな体の育成

… 認め合い居場所のある学級、いじめゼロ宣言（生徒会）、規範意識の高揚（ノーチャイム）、生徒会活動の充実

【志教育の概要について】

具体的な取り組み

- (1) 1年生は地域調べ（ディスカバリー t s u y a）、職場体験学習
- (2) 2年生は郷土芸能の伝承活動
- (3) 3年生は郷土芸能の伝承活動（下川内けんばやし保存会、小泉浜大漁打ばやし保存会による指導）、ボランティア体験（奉仕活動を通しての地域の方々との触れ合い、地域社会への貢献）、立志式
- (4) 中高連携では、本吉響高校生と本校の生徒会役員等と一緒に花壇に植栽や部活動交流（ソフトテニス部、吹奏楽部、美術部）
- (5) 幼保との連携では、職場体験学習で津谷幼稚園、小泉幼稚園での学習等
- (6) 小学校との連携では、入学説明会・中学校見学等を実施（中一ギャップの解消）